

平成 22 年 3 月度準備委員会議事録

日時：‘10-3-11（木）19：30～21：30

場所：膳所駅前商店街事務所

出席者：雨宮、橋本、奥村、戸所、杉本、乾

議事内容：

3月4日（木）開催の委員会では、近畿運輸局より、我々の目指す自家用車両による住民輸送事業の実現は難しいとの見解が示されたため、今後の進め方につき議論を行ったが結論を出すに至らなかった。本準備委員会では、再度今後の方向性を如何に定めるべきかについて議論を行った。その結果の概要は以下の通り。これらの考え方については次回委員会（3月19日開催）に諮り、審議をして行くこととした。

1. ぐるっと平野号の自主運行について

自家用車両をリースしての自主運営による住民輸送事業は、近畿運輸局の指導もあり断念する。ただし、交通の利便性向上に対する住民のニーズがある限り、実現可能な方法を今後とも模索して行く。

2. 行政と連携した取り組みについて

近畿運輸局からの提案でもある、大津市地域公共交通活性化協議会に参画して、平野学区の公共交通網の充実を図って行くことへの取り組みについては、上記協議会の内容について十分調査した上で対応して行く。

3. 一般社団法人の設立について

法人の設立方針は変更しないが、設立目標を本4月1日とする計画は白紙に戻す。法人設立の大きな目的の一つにぐるっと平野号の運行があった。その運行目標時期を平成22年10月1日に設定したこともあって、法人設立は本4月1日を目標とした。しかし、ぐるっと平野号の自主運行計画を断念したことにより、4月1日の意味が消えた。今後は法人設立の意義を再検証し、体制を整えて設立に向けた行動を続けて行く。

なお、本方針変更については学区住民に対し十分な説明が必要であり、自治連を通して周知を図って行く。また、膳所駅前の看板も撤去する。

以上